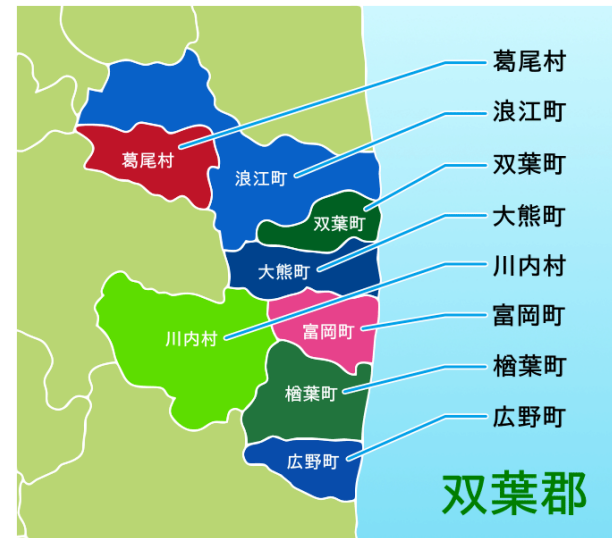


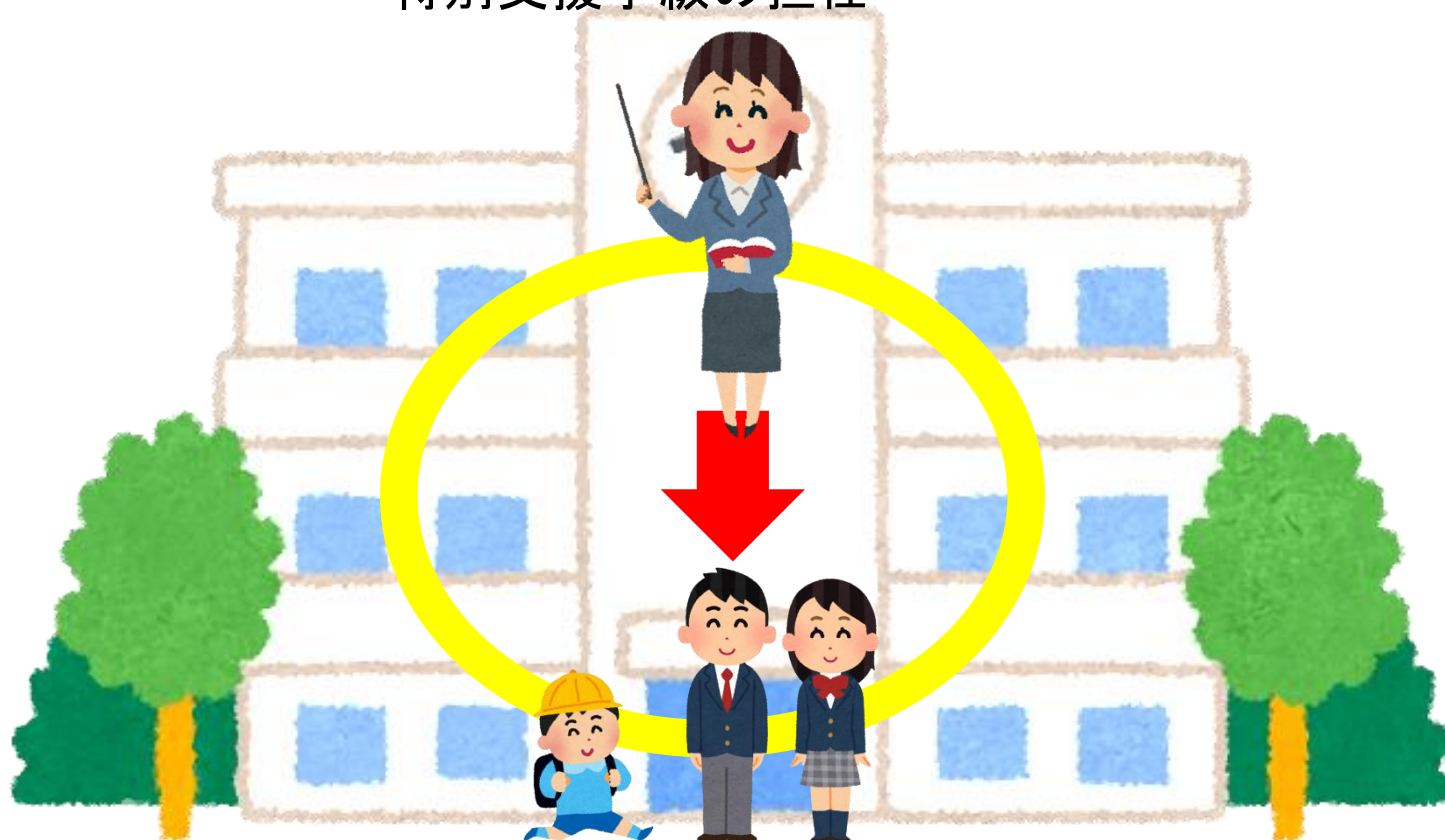
さくら相談室の取り組み(前期)



福島県立富岡支援学校
地域支援センターさくら相談室
特別支援教育コーディネーター
加藤 良一

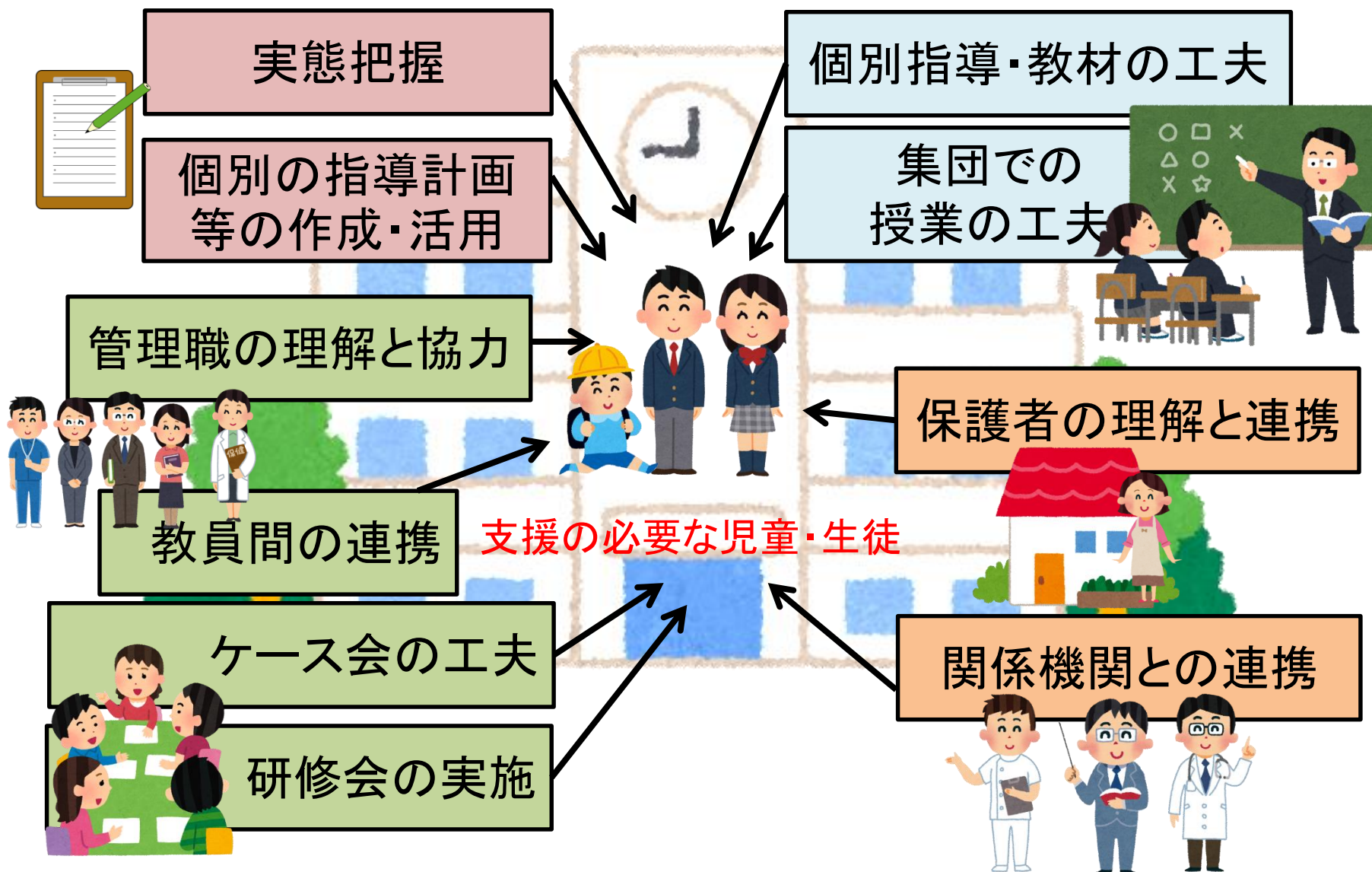
それぞれの学校の校内支援体制

- ・特別支援教育コーディネーター
- ・特別支援学級の担任

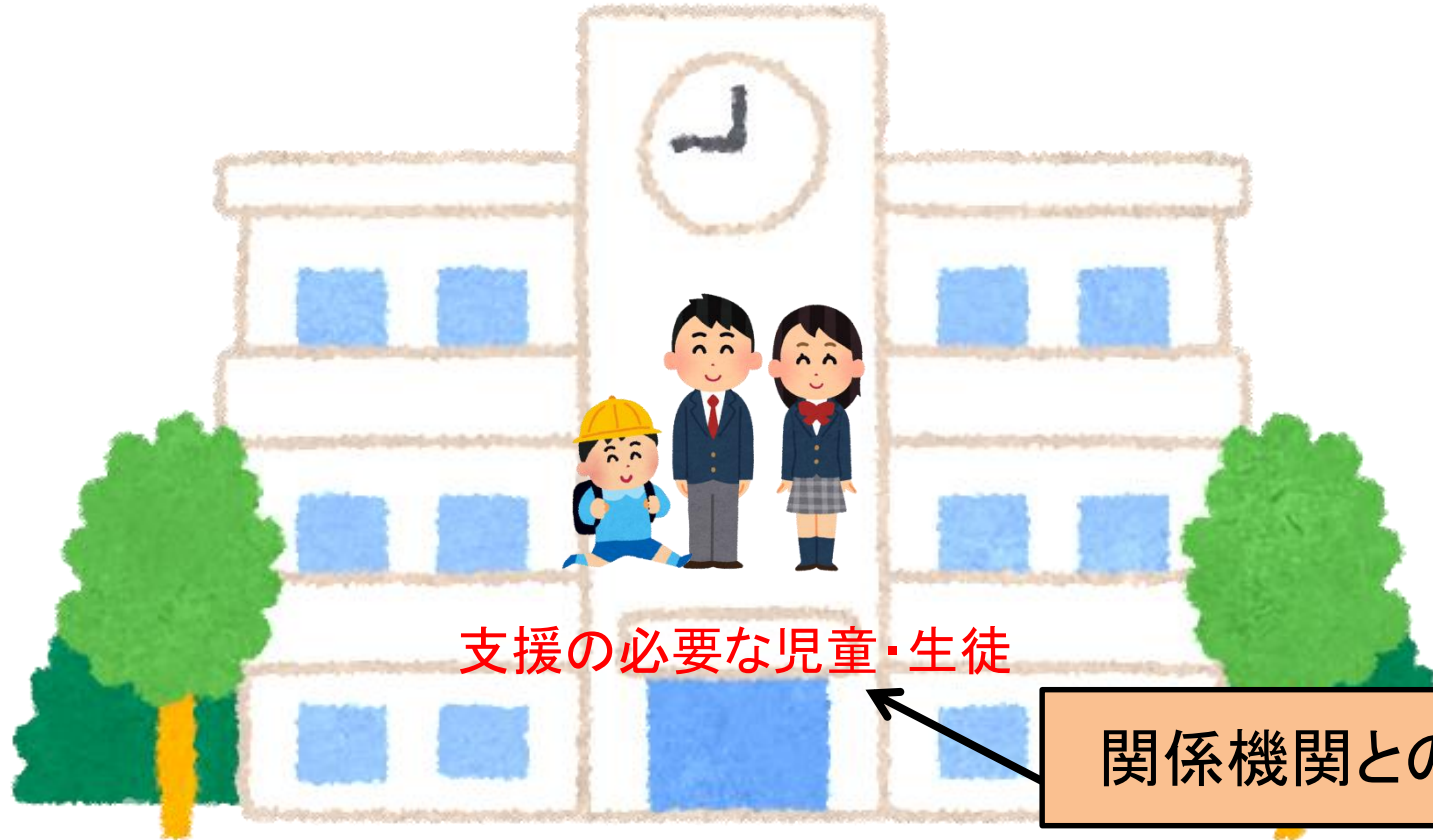


支援の必要な児童・生徒

校内支援体制の整備・充実の方法例



関係機関のひとつとしての 富岡支援学校さくら相談室



支援の必要な児童・生徒

関係機関との連携

- ・教育支援アドバイザー（1名）
- ・特別支援教育コーディネーター（2名）
- ・教務主任、学部主事、研修主任など



富岡支援学校
地域支援センター
さくら相談室

さくら相談室ができること

富岡支援学校

地域支援センターさくら相談室



相談支援

研修支援



A: 学校訪問と相談支援

B: 対象児童生徒、対象学級や学年に対する相談支援

C: 校内の課題に応じた研修支援

(校内教員向けの研修会の開催)

D: 校内の課題に応じた研修支援

(校内ケース会等への参加)

E: 関係機関も交えた相談支援

(情報交換会・支援会議への参加)

→ABCDEの継続と組み合わせ

さくら相談室ができること

富岡支援学校

地域支援センターさくら相談室



相談支援

研修支援



＜支援の観点の例＞

「児童生徒の困り感の把握」

「検査結果の活用」

「授業の目標や内容・評価」「通常学級での指導」

「授業のユニバーサルデザイン」

「個別の指導」「教材教具」

「教室環境整備」

「進路について」

さくら相談室ができること

富岡支援学校

地域支援センターさくら相談室



相談支援

研修支援



＜支援の観点の例＞

「個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成と活用」

「関係機関との連携」

「保護者との連携」

「合理的配慮について」

など

今年度のさくら相談室の取り組み (5月)

川内中学校

- ・対象：通常学級の生徒
- ・内容：進路（高校進学）について
個別の指導計画の様式や作成

相談支援



双葉北小学校

- ・対象：特別支援学級の児童
- ・内容：実態把握について

相談支援



今年度のさくら相談室の取り組み (5月)

四倉高校

- ・対象:先生方全員
- ・内容:「発達障害について」



今年度のさくら相談室の取り組み (6月)

広野中学校

相談支援



- ・対象：通常学級の生徒
- ・内容：集団での指導、学習環境について

四倉高校

相談支援



- ・対象：通常学級生徒
- ・内容：SST(お金の管理について)

今年度のさくら相談室の取り組み (6月)

第一回双葉地域支援ネットワーク会議実施 (富岡町まなびの森)

- ・双葉郡の幼稚園・こども園、小学校、中学校、
高校 16名の先生方の参加
- ・情報交換と課題の共有



今年度のさくら相談室の取り組み (7月)

双葉北小学校

- ・対象：特別支援学級の児童
- ・内容：実態把握について、通常学級との交流

相談支援



四倉高校

- ・対象：通常学級生徒
- ・内容：SST(お金の管理について、約束)

相談支援



今年度のさくら相談室の取り組み (7月)

ふたば幼稚園

- ・対象：園児
- ・内容：実態把握、進路(小学校)について

相談支援



四倉高校

- ・対象：通常学級生徒
- ・内容：SST(お金の管理について、約束)

相談支援



今年度のさくら相談室の取り組み (8月)

四倉高校

- ・対象：通常学級生徒
- ・内容：支援会議への参加

相談支援



(担任、四倉高コーディネーター、SSWなど)

今年度のさくら相談室の取り組み (9月)

四倉高校

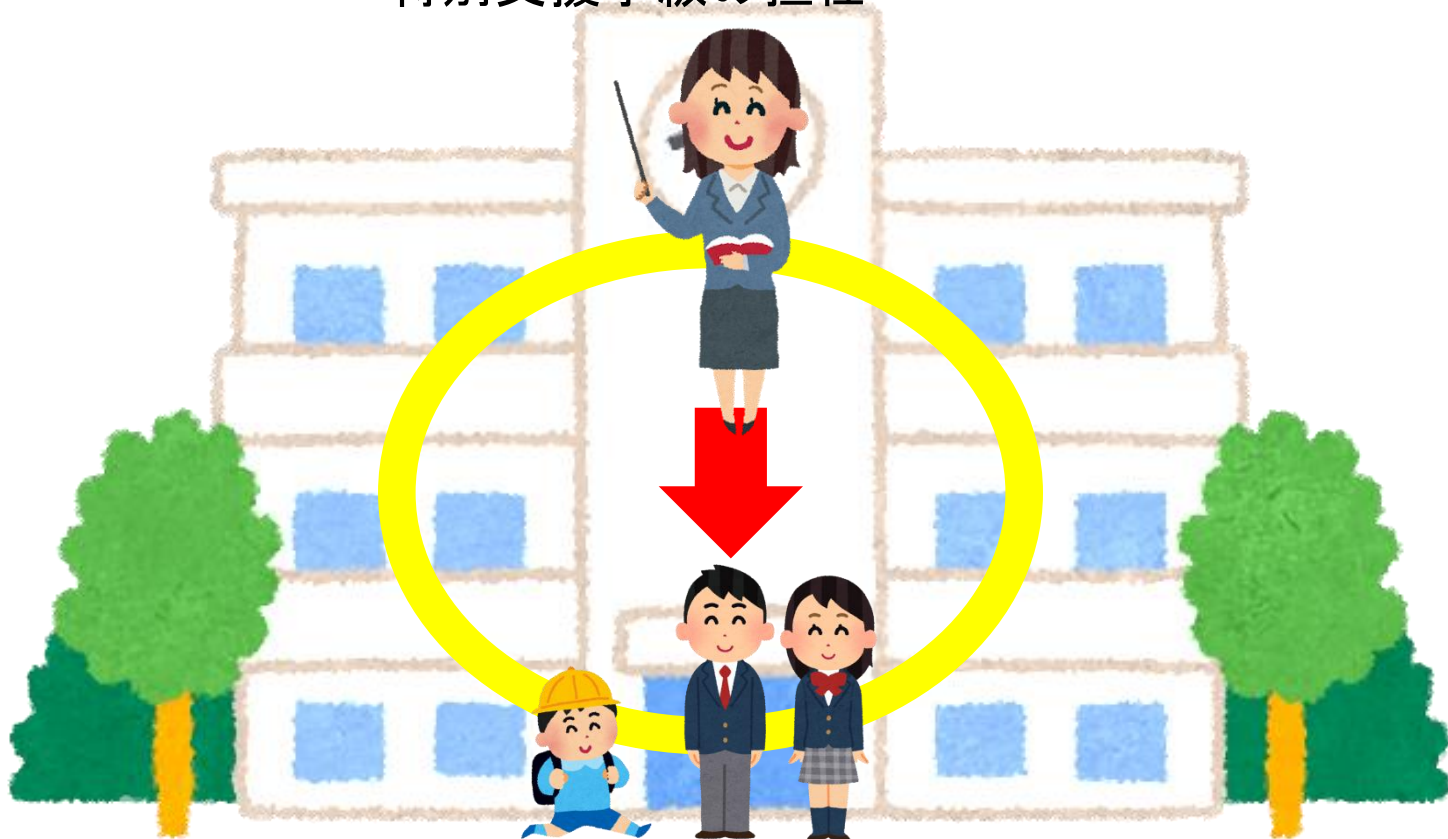
- ・対象:先生方全員



- ・内容:「ABA(応用行動分析)の視点での
生徒指導について」
※2事例についてのケース会議

校内支援体制

- ・特別支援教育コーディネーター
- ・特別支援学級の担任



支援の必要な児童・生徒

校内支援体制の整備・充実の結果

- ・特別支援教育コーディネーター
- ・特別支援学級の担任

- ・養護教諭

- ・管理職
(校長・教頭)

- ・学年主任

- ・通常学級の担任

- ・支援員



- ・SSW
- ・スクールカウンセラー



支援の必要な児童・生徒

- ・特別支援学校

- ・保護者
- ・ご家族
- ・医療
- ・福祉
- ・労働
- ・行政



今年度さいごのネットワーク会議にて (1月頃)

各校の校内支援体制整備の整備・充実に向けて
アンケート実施

Q1 必要な手段・有効な手段について

Q2 児童生徒の変化・成長と
校内支援体制の変化・改善について

「校内の支援体制を整備し充実する」ためのアンケート

学校名（ ）

特別支援教育コーディネーター（名前 ）

Q 1 必要な手段だと感じるものに○

実際に行って有効だった手段に◎をご記入ください。

<授業改善について>

1	児童生徒の実態把握	
2	個別の教育支援計画や個別の指導計画の作成	
3	集団での指導方法の工夫	
4	個別の指導方法や教材教具等の工夫	
5	その他（ ）	

<校内の連携>

6	管理職の理解と協力	
7	学級担任との連携	
8	特別支援学級担任との連携	
9	校内ケース会議の工夫	
10	校内研修会の実施や充実	
11	その他（ ）	

<外部関係機関等との連携>

12	地域支援センター（例：さくら相談室）との連携	
13	S S Wとの連携	
14	スクールカウンセラーとの連携	
15	医療との連携	
16	福祉サービスとの連携	
17	保護者の理解や連携	
18	その他（ ）	

Q 2 児童生徒の変化・成長したことについて具体的に記入してください。

19	
----	--

Q 3 校内支援体制の変化・改善したことについて具体的に記入してください。

20	
----	--